

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	玄関に意見箱を設置し、家族来訪時には直接要望を伺うようにしている。しかし、実際のところ具体的な意見をいただく事はあまりないため、利用者・家族・職員の思いが一致しているか不鮮明である。	利用者・家族の意見を可能な限り汲み取り、一致した意見のもとサービスを提供する。	無記名の家族アンケートを実施する。また、ご家族の方が来訪された際は利用者様の情報を共有することを通して意見の言いやすい関係作りを構築していく。	12ヶ月
2	36	排泄チェック表が誰からでも見えるようになっている。また入浴場所についても外から見えやすい状況になっているためプライバシーの確保として欠けている面がある。	プライバシーという点で改めて施設の状態・職員の対応を見直し、改善していく。	排泄チェック表の位置を変更する。入浴場所については光を遮らないよう配慮しながらブラインドを使用する。職員の対応についても職員間でチェックし合い、話し合いでも取り上げながら自尊心を傷つけない対応に留意する。	12ヶ月
3	35	昼間の災害発生を想定した訓練は行っているが、夜間を想定した訓練についてはマニュアルはあるが実際に行ったことが無い。	いつ災害が発生しても職員が落ち着いて的確な対応を取る事ができる状態にする。	夜間の避難訓練について法人内でも検討し実行に移す。	12ヶ月
4	34	利用者の状態が重度化している中で事故や急変時の対応について職員の不安が大きい。	急変や事故への対応を身につけ、発生時に対応する事ができる。	話し合いの場で過去の事故を振り返り、検討する。新人職員については急変や事故発生時の対応について指導する機会を設ける。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	玄関に意見箱を設置し、家族来訪時には直接要望を伺うようにしているが実際のところ具体的な意見をいただく事はあまりないため、利用者・家族・職員の思いが一致しているか不鮮明である。	利用者・家族の意見を可能な限り汲み取り、一致した意見のもとサービスを提供する。	無記名の家族アンケートを実施する。また、ご家族の方が来訪された際は利用者様の情報を共有することを通して意見の言いやすい関係作りを構築していく。	12ヶ月
2	34	経験の浅い職員が多いため、実際に急変や事故が発生した場合の対応について職員自身に不安がある。	急変や事故への対応を身につけ、発生時に対応する事ができる。	話し合いの場で過去の事故を振り返り、検討する。新人職員については急変や事故発生時の対応について指導する機会を設ける。	12ヶ月
3	35	昼間の災害発生を想定した訓練は行っているが、夜間を想定した訓練についてはマニュアルはあるが実際に行ったことが無い。	いつ災害が発生しても職員が落ち着いて的確な対応を取る事ができる状態にする。	夜間の避難訓練について法人内でも検討し実行に移す。	12ヶ月
4	36	排泄チェック表が誰からでも見えるようになっている。また入浴場所についても外から見えやすい状況になっているためプライバシーの確保として欠けている面がある。	プライバシーという点で改めて施設の状態・職員の対応を見直し、改善していく。	排泄チェック表の位置を変更する。入浴場所については光を遮らないよう配慮しながらブラインドを使用する。職員の対応についても職員間でチェックし合い、話し合いでも取り上げながら自尊心を傷つけない対応に留意する。	12ヶ月
5	1	新しい職員が増えており理念が浸透していない。他の職員についても理念を念頭において実践に活かしているか疑問がある。	個々の職員が理念を理解し、実践に活かす事ができる。	理念の重要性や中身について話し合いで具体的に取り上げる。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	玄関に意見箱を設置し、家族来訪時には直接要望を伺うようにしているが実際のところ具体的な意見をいただく事はあまりないため、利用者・家族・職員の思いが一致しているか不鮮明である。	利用者・家族の意見を可能な限り汲み取り、一致した意見のもとサービスを提供する。	無記名の家族アンケートについて検討し実施する。また、家族が来訪された際は利用者の情報を共有することを通して意見の言いやすい関係作りを構築していく。	12ヶ月
2	38	他の業務に追われ利用者それぞれのペースや希望に合わせきれない場合がある。	利用者の希望や訴えを聞き入れ、個々のペースで暮らす事ができる。	出来る限り利用者と接する時間を持ち、話を傾聴する。	12ヶ月
3	35	昼間の災害発生を想定した訓練は行っているが、夜間を想定した訓練についてはマニュアルはあるが実際に行ったことが無い。	いつ災害が発生しても職員が落ち着いて的確な対応を取る事ができる状態にする。	夜間の避難訓練について法人内でも検討し実行に移す。	12ヶ月
4	36	排泄チェック表が誰からでも見えるようになっている。また入浴場所についても外から見えやすい状況になっているためプライバシーの確保として欠けている面がある。	プライバシーという点で改めて施設の状態・職員の対応を見直し、改善していく。	排泄チェック表の位置を変更する。入浴場所については光を遮らないよう配慮しながらブラインドを使用する。職員の対応についても職員間でチェックし合い、話し合いでも取り上げながら自尊心を傷つけない対応に留意する。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。